

●月岡温泉の継続、繁栄活動について

Q.

コロナ後月岡温泉の経営は厳しいことと感じております。廃墟となった旅館、コンビニなども目立ちます。そんな中、コトリカフェはよい仕事をされているなと感じております。

また市の図書館のボランティアを入れた施設維持はよい方法と思っております。

市民も大切にしている月岡温泉、図書館経営を参考にボランティアを入れての、景観維持（草取り、掃除、などなど）または、市内工務店の協力を得ての（いくらかの市からの工務店への補助）旅館の 5 年毎のリフォーム（壁紙をかえるなど観光客に常に喜ばれる）など、いかがでしょうか。ボランティアには、年に 1 回の日帰りサービス券などあるとよいかと。月岡温泉、新発田市の自分たちの生活の場を大切にできる。市民にもできることあればと思っております。

（令和 8 年 4 月受付）

A.

月岡温泉は、地域経済の一端を担う当市の重要な観光資源であることから、これまでも市独自の「今・得宿泊キャンペーン」等の様々な事業により、コロナ禍や物価高騰等によって深刻な需要の減少が生じた際には、宿泊事業者への支援を行いながら、誘客促進により経済の回復を図ってきたところであります。

また、月岡温泉街でカフェを運営するコトリカフェ様においては、音楽イベントを開催するなど、月岡温泉の賑わいや活性化に尽力していると伺っております。

月岡温泉では、平成 26 年度から月岡温泉旅館協同組合が中心となり、「歩いて楽しい温泉街」をコンセプトに街づくりを進めており、街全体に緑を増やす取組や、建物の外壁などを茶系に統一するなど、温泉街の景観を整備することで、観光客に非日常的な空間を満喫してもらいながら、回遊してもらう取り組みを進めています。

また、御提案にもありました図書館の景観維持については、「イクネスしばたサポータークラブ」がお花の手入れや、絵本の読み聞かせ、イベント等のサポートを行うなど、ボランティア活動に取り組んでいただいております。今年度は、活動 10 周年を迎え、長きに渡り、イクネスしばたや駅前の環境美化に貢献していただいております。

いずれにいたしましても、現時点で月岡温泉関係者やその他団体などからは、ボランティアを求める声は届いておりませんが、いただいたご提案を踏まえ、ボランティアニーズの把握に努めるとともに、市民団体等から具体的な提案をいただく中で、気運が醸成し、条件が一致した際には、しっかりと繋いでまいりたいと考えています。

（令和 8 年 5 月 8 日回答）

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。